

2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年10月23日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社アジュバンコスメジャパン

コード番号 4929 URL https://www.adjuvant.co.jp/

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松井 健二

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部本部長 (氏名) 中川 秀男 TEL 078-351-3136

四半期報告書提出予定日 2020年10月30日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績 (2020年3月21日～2020年9月20日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	2,195	△0.4	△0	—	7	—	△94	—
2020年3月期第2四半期	2,205	△15.2	△239	—	△218	—	△200	—

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 △92百万円 (—%) 2020年3月期第2四半期 △203百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	△11.80	—
2020年3月期第2四半期	△25.17	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	5,077	3,852	75.9	482.19
2020年3月期	5,250	4,123	78.5	517.83

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 3,852百万円 2020年3月期 4,123百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	24.00	24.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期 (予想)	—	—	—	24.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年3月21日～2021年3月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,903	26.3	601	—	614	—	338	—	42.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

連結業績予想の修正については、本日(2020年10月23日)公表いたしました「特別損失の計上及び2021年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績値との差異並びに通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
除外 1社 （社名）株式会社アジュバンコスメティック
（注）詳細は、添付資料10頁「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記」（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	7,996,200株	2020年3月期	7,970,400株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	6,403株	2020年3月期	6,403株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	7,984,188株	2020年3月期2Q	7,958,199株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料4頁「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法）

当社は、2020年10月26日（月）にアナリスト向け説明会を開催する予定です。

その模様及び説明内容（音声）については、当日使用する四半期決算補足説明資料とともに、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響による社会経済活動の自粛により消費が大幅に落ち込んでおり、依然として厳しい状況にありました。政府によるGo To キャンペーンなどの政策の推進により経済活動の再開が段階的に進められており、持ち直しの動きがみられますが、引き続き国内外の感染症の動向に留意が必要な状況です。

美容業界におきましても、緊急事態宣言発令によるサロン※注1の営業制限から徐々に営業を再開したものの、来店客数の減少の影響もあり、当社商品を販売するアジュバンサロン※注2においても同様の影響がありました。

このような状況のもと、当社グループは、2021年3月期の営業テーマを「顧客の創造・関係性の強化」とし、営業方針を「年間販促計画の策定と実行」「カウンセリングの知識・技術の習得」「アフターフォローの習慣化」「顧客分析の徹底」として掲げ、サロンの安定した経営サポートを目指しております。新型コロナウイルス感染症の感染予防及び感染拡大防止に関しては、当社が定めた「新型コロナウイルスに関する指針」を遵守し、感染拡大の防止に十分注意しながら営業活動を行っております。

また、国立研究開発法人理化学研究所との共同基礎研究により毛髪と頭皮に関する機能性成分を見出し、その後自社にて処方した新ヘアケアブランド「KASUI(カスイ)」と毛髪の内部補修により扱いやすい髪質へ近づけるシステムトリートメント「Jalire(ジャリル)」を10月1日より発売する為、販促活動に取り組んでおりました。

売上高につきましては、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,195百万円(前年同期比0.4%減)となりました。詳細は区分別売上高の概要をご参照ください。なお、アジュバンサロン登録軒数につきましては、当第2四半期連結会計期間末で8,036軒(前期末比241軒増)となりました。

利益面では、たな卸資産評価損・廃棄損の減少による売上総利益の改善及び販売促進費や旅費交通費等の減少により、営業損失0百万円(前年同期は営業損失239百万円)、経常利益7百万円(前年同期は経常損失218百万円)となりましたが、特別損失として投資有価証券評価損100百万円を計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純損失は94百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失200百万円)となりました。

区分別売上高は、売上割戻金を含めて次のとおりであります。

区分	前第2四半期連結累計期間		当第2四半期連結累計期間		増減額 金額(百万円)	増減率 (%)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)		
スキンケア	897	40.7	764	34.8	△133	△14.8
ヘアケア	1,112	50.4	1,167	53.2	55	5.0
その他	360	16.4	413	18.8	52	14.5
売上割戻金	△165	△7.5	△150	△6.8	15	—
合計	2,205	100.0	2,195	100.0	△9	△0.4

(注) 1. エクシードシステム株式会社(連結子会社)、ADJUVANT HONG KONG COMPANY LIMITED(連結子会社)の売上高は、「その他」に含んでおります。

2. 売上割戻金は、商品ごとではなく売上高の合計を基準として割戻率を設定しているため、区分ごとに配賦せず合計額で表示しております。

国内海外別売上高は、次のとおりであります。

区分	前第2四半期連結累計期間		当第2四半期連結累計期間		増減額 金額(百万円)	増減率 (%)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)		
国内売上高	2,090	94.8	2,112	96.2	21	1.0
海外売上高	114	5.2	83	3.8	△31	△27.4
合計	2,205	100.0	2,195	100.0	△9	△0.4

当社グループは、単一セグメントであるためセグメント別の記載はしておりませんが、区分別売上高の概要は以下のとおりであります。

(スキンケア)

スキンケア商品の売上高は、前期リリースした新商品の販売が想定よりも伸び悩んだ結果、計画を下回る結果となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は764百万円(前年同期比14.8%減)となりました。

(ヘアケア)

ヘアケア商品の売上高は、「Re:」の「クラスSライン」は計画を下回る結果となりましたが、「ベーシックライン」は順調に推移いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,167百万円(前年同期比5.0%増)となりました。

(その他)

エクシードシステム株式会社(連結子会社)の売上高は、国内のサロンアンサーシステム^{※注3}の導入件数が、当第2四半期連結会計期間末において1,207件と順調に推移した結果、増加いたしました。

ADJUVANT HONG KONG COMPANY LIMITED(連結子会社)の海外売上高は、香港で続いている抗議活動と新型コロナウイルス感染症の影響に伴い減少しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は413百万円(前年同期比14.5%増)となりました。

※注1「サロン」

理美容室・エステティックサロン・ネイルサロン・アイラッシュサロン・美容クリニック等を指します。

※注2「アジュバンサロン」

初回に100千円以上の仕入を行い、当社グループが指導する商品の案内方法等を定めたアジュバンサロン契約を締結したサロンを指します。

※注3「サロンアンサーシステム」

エクシードシステム株式会社(子会社)が販売する、クラウド型経営サポート(サロンの顧客管理、経営分析)システムを指します。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して173百万円減少し、5,077百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末と比較して99百万円減少の2,648百万円となりました。主な変動要因は、現金及び預金の減少415百万円、売掛金の減少31百万円、たな卸資産の増加283百万円によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末と比較して74百万円減少の2,428百万円となりました。主な変動要因は、償却等による有形固定資産の減少17百万円、コーポレートサイトのリニューアルに伴う無形固定資産の増加26百万円、減損処理などによる投資有価証券の減少96百万円によるものであります。

流動負債は、前連結会計年度末と比較して92百万円増加の751百万円となりました。主な変動要因は、買掛金の増加166百万円、1年内返済予定の長期借入金の減少10百万円、未払法人税等の増加6百万円、未払金の減少等による流動負債その他の減少66百万円によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末と比較して5百万円増加の472百万円となりました。主な変動要因は、リース債務の増加に伴う固定負債のその他の増加4百万円によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して271百万円減少の3,852百万円となりました。主な変動要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失による減少94百万円、配当金の支払による減少191百万円によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べて409百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末には1,062百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、使用した資金は149百万円(前年同期比171百万円減)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純損失93百万円の計上、減価償却費53百万円の計上、たな卸資産の増加額283百万円、仕入債務の増加額276百万円、前渡金の支出等によるその他の増加額157百万円及び法人税等の還付額25百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は60百万円(前年同期は170百万円の収入)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出24百万円、無形固定資産の取得による支出34百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は195百万円(前年同期比8百万円減)となりました。これは主に、配当金の支払額191百万円、長期借入金の返済による支出10百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の通期の連結業績予想につきましては、第2四半期の業績を踏まえ2020年4月17日に公表しました業績予想を変更しています。詳細につきましては、本日公表の「特別損失の計上及び2021年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績値との差異並びに通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、新型コロナウイルス感染症の拡大が長期化、深刻化し、新たに通期連結業績予想の見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月20日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,478,313	1,062,695
売掛金	454,938	422,968
商品及び製品	638,440	888,742
仕掛品	21,532	39,261
原材料及び貯蔵品	76,851	92,564
その他	82,337	149,025
貸倒引当金	△4,606	△6,549
流動資産合計	2,747,807	2,648,708
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,137,993	1,145,397
土地	720,678	720,678
その他	456,489	469,834
減価償却累計額	△651,458	△689,427
有形固定資産合計	1,663,703	1,646,481
無形固定資産	46,185	73,009
投資その他の資産		
投資有価証券	526,869	430,748
その他	282,184	296,493
貸倒引当金	△15,962	△18,261
投資その他の資産合計	793,091	708,980
固定資産合計	2,502,980	2,428,471
資産合計	5,250,788	5,077,179
負債の部		
流動負債		
買掛金	132,297	299,132
1年内返済予定の長期借入金	17,755	7,705
未払法人税等	9,254	15,559
賞与引当金	104,873	100,083
その他	395,244	329,192
流動負債合計	659,425	751,673
固定負債		
退職給付に係る負債	43,421	45,726
資産除去債務	15,342	13,605
長期未払金	384,470	384,470
その他	24,148	29,089
固定負債合計	467,382	472,891
負債合計	1,126,808	1,224,565

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月20日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	759,671	765,630
資本剰余金	731,374	737,334
利益剰余金	2,648,728	2,363,388
自己株式	△5,833	△5,833
株主資本合計	4,133,941	3,860,520
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△11,388	△8,897
為替換算調整勘定	1,427	991
その他の包括利益累計額合計	△9,960	△7,906
純資産合計	4,123,980	3,852,614
負債純資産合計	5,250,788	5,077,179

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月21日 至 2019年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月21日 至 2020年9月20日)
売上高	2,205,298	2,195,553
売上原価	950,175	890,359
売上総利益	1,255,123	1,305,194
販売費及び一般管理費	1,494,898	1,306,087
営業損失(△)	△239,775	△893
営業外収益		
受取利息	1,869	1,961
受取配当金	19,134	2,034
受取家賃	900	900
助成金収入	1	4,991
貸倒引当金戻入額	—	821
雑収入	1,370	1,832
営業外収益合計	23,276	12,540
営業外費用		
支払利息	60	33
為替差損	2,323	3,762
雑損失	1	—
営業外費用合計	2,385	3,795
経常利益又は経常損失(△)	△218,883	7,852
特別損失		
固定資産除却損	2,811	1,212
投資有価証券評価損	—	100,079
その他	—	207
特別損失合計	2,811	101,500
税金等調整前四半期純損失(△)	△221,695	△93,647
法人税、住民税及び事業税	18,150	6,539
法人税等調整額	△39,523	△5,982
法人税等合計	△21,372	556
四半期純損失(△)	△200,322	△94,203
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△200,322	△94,203

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月21日 至 2019年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月21日 至 2020年9月20日)
四半期純損失(△)	△200,322	△94,203
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,785	2,490
為替換算調整勘定	△1,436	△435
その他の包括利益合計	△3,221	2,054
四半期包括利益	△203,544	△92,148
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△203,544	△92,148
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月21日 至 2019年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月21日 至 2020年9月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△221,695	△93,647
減価償却費	56,418	53,383
株式報酬費用	11,101	1,180
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△414	4,242
賞与引当金の増減額(△は減少)	20,652	△4,790
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	1,341	2,305
受取利息及び受取配当金	△21,004	△3,996
支払利息	60	33
為替差損益(△は益)	2,325	3,760
固定資産除却損	2,811	1,212
投資有価証券評価損益(△は益)	—	100,079
売上債権の増減額(△は増加)	△2,390	△77,649
たな卸資産の増減額(△は増加)	△99,184	△283,743
仕入債務の増減額(△は減少)	87,383	276,454
その他	△75,246	△157,314
小計	△237,842	△178,489
利息及び配当金の受取額	21,004	3,996
利息の支払額	△60	△33
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△103,525	25,240
営業活動によるキャッシュ・フロー	△320,422	△149,285
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△48,790	△24,164
無形固定資産の取得による支出	△11,831	△34,763
投資有価証券の取得による支出	△1,027	△27
投資有価証券の売却による収入	246,000	—
定期預金の預入による支出	△3,000	—
定期預金の払戻による収入	6,000	6,000
保険積立金の積立による支出	△8,723	△8,723
その他	△8,547	795
投資活動によるキャッシュ・フロー	170,079	△60,883
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△10,050	△10,050
リース債務の返済による支出	△7,341	△6,048
株式の発行による収入	3,880	11,919
配当金の支払額	△190,416	△191,069
財務活動によるキャッシュ・フロー	△203,926	△195,248
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,750	△4,199
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△358,019	△409,617
現金及び現金同等物の期首残高	1,480,853	1,472,313
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,122,834	1,062,695

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第1四半期連結会計期間より、当社を吸収合併存続会社とし、当社の特定子会社かつ完全子会社である株式会社アジュバンコスメティックを吸収合併しましたので、同社を連結の範囲から除外しております。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う会計上の見積りについて)に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報)

当社グループは、アジュバン化粧品の商品企画、研究開発、販売及びこれに附帯するサービス業務を営む単一セグメントであるため、記載を省略しております。